(1) 昭和	32年5月15日 前	橋市廣報	(銀月一日十五日發行)	第139號
の で 一 で の の の 年 所 集 所			・ 高納市税の一掃を目標に設力な と 高約市税の一掃を目標に設力な と 今月は市財政経 く と の 市 の 一 伊 を 一 行 な の ポ の 一 術 で 、 や む を わ の で 、 や む を わ い よ い い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い し い よ い し い よ い し い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い た い よ い の 出 一 野 上 が 日 二 年 し た う し 古 い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い た か し て わ り 上 げ 志 し て わ い よ い よ い よ い よ い よ い た が し て や の ま 一 か し て や の ま - た が し て や い よ い よ い し て や の ま 一 一 れ し て や し ま 一 た が し て や し ま よ で の 、 か よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い よ い で い よ い た が し て や し 、 た が し て 一 、 む し て や し て の 一 一 一 れ 一 一 れ て 一 一 一 一 れ て 一 一 一 、 わ て 一 一 一 一 、 わ て 一 つ し て 一 、 か し て つ て つ し て う し て う し て う し て う し て う し て う し て う し て う つ て う し て う し て う し て う つ て 一 つ て う 一 一 し て う し 古 や し て う し て う し て う し て つ て つ て つ て つ て つ つ つ て つ て つ つ て つ て つ て つ て つ て つ て つ て つ て つ て つ て つ つ て つ つ つ て つ つ つ つ つ て つ つ つ つ つ つ て つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ	行は市財
今月の納税は (業業業)です。ど	一年度前橋市袁出東正子真外 一年度前橋市袁出東正子真外	今月十八日午後一時から前橋市議会院時会が開かれますが、市長提 出の議案は次の通りです。 や前橋市市税条例改正について や前橋市水道審案の基本計画域東土地区回整 型橋市水道給水条例改正について や前橋市水道給水条例改正につい	による整理を実施しております。 このため運日係員が滑納者を訪問 月中にお納め下さるよう御協力を	市税の滞納を一掃
V*	「日本の日朝、桂茸、芳賀、水明、 古の日朝、桂茸、芳賀、水明、 古川淵、清里の各地区内約一七二 等な打撃を蒙りましたことは誠に、巨 意な打撃を蒙りましたことは誠に、巨 ない次常で、被害農家、 と、 たころに裏心から綱見鮮申し上、日	一一件 一件 一件 一件 一件 一件 一件 一件 一件 一件	會招集 であっていた。 なお園を言葉の、これますから、これます。 の、総秀部収結果)	しましよう
		小池国治 (南橘巴 伊藤次男 (石倉		合せ下さい。 高では五月一日付で人事異動を完 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二
と素書の影響な思考しまで及 ふので春以穫養道ちに肥料を施し まで及		等一保管疗法素管二保管所長) 室志太郎(第二保管所長) 元総社保管所長素石倉保育所長 広耕正宮(元総社保管所長 高畑正 (福祉事務所次長) 福祉事務所次長)	₹ ² 勤 蚩 蒼 影	南橋出張所長、大陸辰次郎へ第二 泉音所長) 永明出張所長、篠田清七(桂萱出 張所長)
法律相談 無料ですから、御利用下さい。す。 第10条でありますの世界の地域により参方円以下の罰金に料せら で春収穫後直ちに肥料を施し により参方円以下の罰金に料せら により参方円以下の罰金に料せら		町町の前標法務局「人権擁護相談 町町の前標法務局「人権擁護相談 とています。なお前号で一部 認知ありましたので、こくに改 めて氏名をお知らせして訂正致し ます。 マ百軒町四一八 萩宮富士太郎氏 (製糸業・現)	人 権 問 題 は 擁 前手でお知らせの通り今度人権 課 り きんの中で、人権問題でお知らせ か すい か ま 手 に うちょうたい 市 に うちょうたい 市 に うちょうたい 市 に うちょうたい 市 に うちょう たい か に 単 町 日 ぎょう たい か に 単 町 日 ぎょう たい か に す い たい か に む か に す い たい か に む か に す い たい か に い か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に む か に か い か い か い か い か い か い か い か い か い	期及び貯素方法に充分注意する イ、被害素はしお丸易いから摘秦 ◆養蚕対策
町町橋飛八同 遊園林石坂 (社) 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一		 ▽一毛町二五七 藤舎 登氏 (保管國経営・第) >浸閉町七 北畑慶弥氏 (皇業・第) >芳町二 六 大竹宗言氏 (遺霊業・新) (業若語床辞書) 	◇お田崎市七一山田かつみ氏 ・現 ・現 ・水坂子町四六四小林二郎氏 ・現 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、 ・ 、	特し条をふみつけさせないとと。

昭和32年5月15日	前橋市廣	報 (毎月一日十五日發行)	第139號 (2)
	会若は、北は北海道から南は九州 全若は、北は北海道から南は九州 まで約千人に近い研究員ですが、 第準指導の研究指定核は全国でも はじめてのことであり、当日参会 若の多いことを子想して、県内の 関係者には、二十七日午後一時、 関係者には、二十七日午後一時、		王小学の言語の意
なたってすか。 溶みですか。 溶ない家は早く 致しましよう。 本本部界ですか。 なたってすか。 たたですか。 なたですか。 なたですか。 たたい なたですか。 たたい なたですか。 たたれての にした。 なたれての にした。 たたれての にした。 たたれての にした。 にした。 たたれての にした。 たたれての にした。 たたれての にした。 たたれての にの たたれての にの にした。 にの たたれての にの たたれての にの にの たたれての にの にの にの にの にの にの にの にの にの に	-	写品が贈 「 」 「 」 「 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」 」	や月全國發表の
 (1) してきましたが、本市で もとれに呼応して、今年も市衛生 (1) の駆除作業を行う (1) の駆除作業を行う (1) たがら何分にも限 (1) たがら何の御話 (1) たがらで、市では民業組 (1) しましたから、み (1) ならんが、すくん 	今年も入梅期のおとずれと共に 今年も入梅期のおとずれと共に 前から厚生着が「岐と騙のいない 常から厚生着が「岐と騙のいない なたから次へと媒介する縄を一匹 生活」の実践運動を提唱して全国 生活」の実践運動を提唱して全国	今年も 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	影響を発
 ● この美品の使い方 ● シスク用 DDT油剤(ケロシン) 	でお申込み下さるよう希望致しま す。 ●単読期間 五月八日から六月二 十日まで。 ●申込方法 近日中に区長さんか ら回覧文と同時に申込用紙が答案 庭にまわりますから、希望着はそ	今年も防疫薬品を市で實費斡旋 学年も防疫薬品を市で實費斡旋 一世	返済すればよいことになつていま 定活すればよいことになつていま
日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	として蝿の成虫を駆除するの に使います。 ●室外用 ミケオルリは「四〇 「営程度に水でうすめて」」便所 ゴミ着等に撒布し、ウジを駆 除するのに便います。 (社会認衛生課)	一一 一丁 一丁 一丁 一丁 一丁 一丁 一丁 一丁 一丁	母親學級を開催 なるべく早く市役所正 音調学教は、市と前 構像館所の共 なるべく早く市役所 正 なるべく早く市役所 正 なるべく早く市役所 正 な の の 知 の 知 の に 言 た に 言 た に 言 た に 一 た 一 に 一 た 一 に 一 一 一 一 で の 元 の 知 歌 し で の 二 元 に 一 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 二 に で 一 で 、 七 月 に 三 読 で 一 二 で に 一 二 で の 二 で の 二 に 一 で の 二 で の 二 に 一 三 で の 二 で の 二 で の 二 で の 二 で の 二 で の 二 で の 二 で の 二 で で 一 で で 一 で の 二 で の 二 で の で 一 で 一 で 一 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 で 一 一 で 一 一 で 一 一 で 一 で 一 一 で 一 一 一 で 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
		ら非常に喜はれております。 「写真は母親学歌の受護者」	学校を開催 学校を開催 で、七月に受護を高速される方は 第の前保護所で なるべく早く市役所市民課かる に言 振行で、七月に受護を高速される方は 第の式ですから、
代表 市 六六 役 二二 の 二二 の 電 番番話 6月の前橋 鬱輪は次の第 車券發賣は毎日午前11 6月第1節 5月31日(金 第2節 7日(金	(商工部企業課))6月1日(土)2日(日)。	いて (4) フオクダンス (5) 合唱 (当日は実輪青年団との変 激を行う手定、募集人員は先着 百名まで) ◇二六日 茶道講座、講師業岸あ い先准 (公民電午養二時) 会 (公民電午養六時半)	◆一九日 郷土研究サイクリンク 午前九時公民館出発へ研究は (1) 正しいサイクリンク (2) 総社古壇群の研究(3) (3) (3) (5) (4) (5)